

S&H Form: (2/01)

Attorney Docket No. 1095.1187

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:

Takashi YAMAMOTO

Application No.:

Group Art Unit:

Filed: June 8, 2001

Examiner:

For:

CAD SYSTEM

SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN APPLICATION IN ACCORDANCE WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. §1.55

Assistant Commissioner for Patents Washington, D.C. 2023l

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. §1.55, the applicant(s) submit(s) herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. PCT/JP99/01337

Filed: March 17, 1999

It is respectfully requested that the applicant(s) be given the benefit of the foreign filing date(s) as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. §119.

Respectfully submitted,

STAAS & HALSEY LLP

Date: June 8, 2001

Washington, D.C. 20001

By: _______

James D. Halsey, Jr. Registration No. 22,729

700 11th Street, N.W., Ste. 500

(202) 434-1500

7

CERTIFIED COPY OF PRIORITY DOCUMENT

日本国特許庁

JAPAN PATENT OFFICE



別紙添付の書類は下記の出願書類の謄本に相違ないことを証明する。 This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 Date of Application:

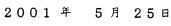
1999年 3月17日

出 願 番 号 Application Number:

PCT/JP99/01337

出 願 人 Applicant (s):

富士通 株式会社 山本 孝志







出証平 13-500100

特許協力条約に基づく国際出願

国際出願番号	图官庁配入欄 —————
国際出順日.	
(受付印)	
出願人又は代理人の書類記号	FIIP-0792P

願書	医際出願日	
出願人は、この国際出願が特許協力条	(受付印)	
約に従って処理されることを削求する。	出願人又は代理人の書類記号 (希望する場合、最大12字) F [JP-0792P
第1欄 発明の名称		
CADシステム及び記録媒体		
第 工 欄 出 照 人		
氏名(名称)及びあて名: (姓・名の順に記載;法人は公式の完全な名称を記載;	あて名は鄭便番号及び国名も記載)	この棚に記載した者は、
 富士通株式会社 FUJITSU LIMIT	F.D.	電話番号:
〒211-8588 日本国神奈川県川崎市中原		
1-1 Kamikadanaka 4-aha	m 0	ファクシミリ番号:
¹1−1, Kamikodanaka 4−cho 'Nakahara-ku, Kawasaki-s	hi,	
Kanagawa 211-8588 JAPA	N	加入電信番号:
□箱 (圓名): 日本国 JAPA·N	住所 (图名): 日本国	JAPAN
この欄に記載した者は、次の 指定国についての出願人である: すべての指定国 V 米国を除	くすべての指定国 米国のみ	追記欄に記載した指定国
第Ⅲ欄 その他の出願人又は発明省		
氏名(名称)及びあて名:(姓・名の順に記載;法人は公式の完全な名称を記載;	あて名は郵便番号及び国名も記載)	この棚に記載した者は 次に該当する:
山 本 孝 志 YAMAMOTO Ta	kashi	
〒422-8572 日本国静岡県静岡市南町1	8 悉 1 号	出願人のみである。
株式会社富士通静岡エンジ	ニアリング内	☑ 出願人及び発明者である。
c/o FUJITSU SHIZUOKA ENGINE 18-1, Minamicho, Shizuoka-shi	ERING LIMITED,	T 19 19 15 07 7 77 7 7
Shizuoka 422-8572 JAPAN	,	
)		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
図籍 (図名): 日本国 JAPAN	住所 (图名): 日本国	JAPAN
この欄に記載した者は、次の すべての指定国 米国を除	くすべての指定国 🗸 米国のみ	追記側に記載した指定国
その他の出願人又は発明者が続葉に記載されている。		
第IV欄 代理人又は共通の代表者、通知の)あて名	
次に記載された者は、国際機関において出願人のために行動する:	▼ 代理人	
氏名(名称)及びあて名:(姓・名の順に配載;法人は公式の完全な名称を配載;		電話番号:
	`TORI Kiyoshi	0426-45-6644
〒192-0082 日本国東京都八王子市東町 八王子東邦生命ビル 服部:	り 男 0 つ 持許事務所	ファクシミリ番号:
Hattori Patent Office,		0426-45-8578
Hachioji Tohoseimei Bl 9-8, Azuma-cho, Hachioji	ag. —shi	加入電信番号:
Tokyo 192-0082 JAPAN	J 11 1 ,	
通知のためのあて名・仲間人では単語の伊塞米が強任立れておらず し知め	力にないで流れることはシャップ・マップの	7.48.0 11.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.

様式PCT/RO/101 (第1用紙) (1998年7月)

鄭 V 相如	国の指定					
見則 4.9(a)	の規定に基づき次の指定を行う <i>(該当する口にレ印を付すこと;</i>	少なくとも1つの口にレ印を付すこと)。				
广泛山北华诗	4=					
AP	A R I P 〇 特部ド : G FI ガーナ Chana, G DM ガンビア Gambia, K IE ケニア Konya, L S レソト Lesotho, M W マラウイ Malawi, S D スーダン Sudan, S Z スワジランド Swaziland, U G ウガンダ Uganda, Z W ジンパブェ Zimbabwe, 及びハラレブロトコルと特許協力条約の締約国である他の国					
EA	ユーラシア牛芋替午: AMI アルメニア Armenia, A Z アゼルバイジャン Azerbaijan, B Y ベラルーシ Belarus, K C キルギス Kyrgyzstan, K Z カザフスタン Kazakhstan, MID モルドヴァ Republic of Moldova, R U ロシア Russian Federation, T J タジキスタン Tajikistan, T M トルクメニスタン Turkmenistan, 及びユーラシア特許条約と特許協力条約の締約国である他の国					
ЕР	ヨーロ シノベ中音行: A T オーストリア Austria, IB E ベルギー Belgium, C I-I and L I スイス及びリヒテンシュタイン Switzerland and Licchtenstein, C Y キプロス Cyprus, D E ドイツ Germany, D K デンマーク Denmark, E S スペイン Spain, I-I フィンランド Finland, I-R フランス France, G B 英国 United Kingdom, G R ギリシャ Greece, I E アイルランド Ireland, I T イタリア Italy, L U ルクセンブルグ Luxembourg, M C モナコ Monaco, N L オランダ Netherlands, I-I ポルトガル Portugal, S E スウェーデン Sweden, 及びヨーロッパ特許条約と特許協力条約の締約国である他のほ					
OA	Republic, C G コンゴー Congo, C I コートジボア G N ギニア Guinea, M IL マリ Mali, M R モー	ina Faso, B J ベナン Benin, С F 中央アフリカ Central African ール Côted' lvoire, C Iv1 カメルーン Cameroon, G A ガポン Gabon, リタニア Mauritania, Iv1 E ニジェール Niger, S Iv1 セネガル Scnegal, リカ知的所有機機構のメンバー国と特許協力条約の締約国である他の国 <i>(他の種類</i>				
国内特的	F (他の種類の保護又は収扱いを求める場合には点線上に配載する					
DAL	アルバニア Albania	I_ コーリトアニア Lithuania				
MA	アルメニア Armenia	L U ルクセンブルグ Luxembourg				
AT	オーストリア Austria	L V ラトヴィア Latvia				
_ AU	オーストラリア Australia	■ M D モルドヴァ Republic of Moldova				
AZ	アゼルバイジャン Azerbaijan	☐ MG マダガスカル Madagascar				
	ボスニア・ヘルツェゴヴィナ Bosnia and Herzegovina	I ► I ► I ト マケドニア旧ユーゴースラヴィア共和国 The former Yugoslav Republic of Macedonia				
. —	パルバドス Barbados	MN モンゴル Mongolia				
H B G	ブルガリア Bulgaria	☐ IMIW マラウイ Malawi				
	ブラジル Brazil	☐ MX メキシコ Mexico				
	ベラルーシ Belarus	□ NO ノールウェー Norway				
ı —	カナダ Canada	N Z ニュー・ジーランド New Zealand				
	and I。 I スイス及びリヒテンシュタイン Switzerland and Liechtenstein	□ P L ポーランド Poland				
		P T ポルトガル Portugal				
	中国 China	RO N-V=7 Romania				
	キューバ Cuba チェッコ Czech Republic	R U ロシア Russian Federation S D スーダン Sudan				
	ドイツ Germany					
DE	デンマーク Denmark	S E ADITO Sweden				
	エストニア Estonia	S G シンガポール Singapore				
DES.	スペイン Spain	S I ZDÖX=7 Slovenia				
FI	フィンランド finland	S K スロヴァキア Slovakia S L シエラ・レオーネ Sierra Leone				
ПСВ	炎国 United Kingdom					
	グルジア Georgia	T J 994x9y Tajikistan				
GH	ガーナ Ghana	TM トルクメニスタン Turkmenistan				
	ガンビア Gambia	TR hus Turkey				
	ギニア・ビサオ Cuinca-Bissau	T T トリニダッド・トバゴ Trinidad and Tobago				
	クロアチア Croatia	UA ウクライナ Ukraine				
	ヘンガリー Hungary	U G ウガンダ Uganda V U S 米国 United States of America				
	インドネシア Indonesia					
	イスラエル Israel	TITZ ウズボカカン Balaina				
□ rs z	アイスランド Iceland	UZ ウズベキスタン Uzbekistan				
	1本 Japan	□ ∨ N ヴィエトナム Viet Nam				
DKE 4	r=7 Kenya	Y U ユーゴースラヴィア Yugoslavia				
- KG	ナルギス Kyraugeton	□ Z W ジンパブエ 2imbabwe				
T K R A	テルギス Kyrgy2stan	以下の口は、この様式の施行後に特許協力条約の締約国となった国を指定(国				
	韓国 Republic of Korea	円特許のために) するためのものである				
	フザフスタン Kazakhstan こント・ルシア Saint Lucia					
	ミリ・ランカ Sri Lanka					
	マッ・ランガ Sri Lanka リベリア Liberia					
	ソト Lesotho	L				
確認の指定の宣言 言から除く旨の数:	: 出願人は、上記の指定に加えて、規則 4.9(b)の規定に基づき 示を追記欄にした倒け、投資から除かれる。 出版人は、これもので	・ 特許協力条約の下で認められる他の全ての国の指定を行う。ただし、この宜				

確認の指定の直言:出願人は、上記の指定に加えて、規則 4.9(b)の規定に基づき、特許協力条約の下で認められる他の全ての国の指定を行う。ただし、この宣言から除く旨の表示を追記欄にした国は、指定から除かれる。出願人は、これらの追加される指定が確認を条件としていること、並びに優先日から15月が経過する前にその確認がなされない指定は、この期間の経過時に、出願人によって取り下げられたものとみなされることを宣言する。 (指定の確認は、指定を特定する通知の提出と指定手数料及び確認手数料の納付からなる。この確認は、優先日から15月以内に受理官庁へ提出しなければならない。)

3	盲
_	×

第VI欄 優先權	主班	他の優先権の主張(先の出願)が	3 追記欄に記載されている	
先の出願日	先の出願番号		先の出願	
(日、月、年)		国内出願 : 国 名	広域出願 : *広域官庁名	国際出願 : 受理官庁名
(1)				Bounday , Azin, a
(2)				
(3)				
事務局へ送付することを、 * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	、受理官庁(日本国特許庁の長	出される受理官庁に対して提出される受理官庁に対して提出される受理官庁に対して提出され、 は、出願音類の認証謄本を作成し。 官)に対して請求している。 の生の出願を行った工業所有権の保証	:	【とも1ヶ国を追記欄に表示した
第VII 欄 国際調	查機関			
国際調査機関 (ISA)の選択	5元の間間20年 新音果の第 国際関査機関によって既に実施	不り月1 官衛 3大 ; 当 信亥 間及 又は請求されている場合)	査の照会(先の調査が
· i		出願日 (日. 月. 年)	出願番号	国名 (又は広域官庁)
ISA// J	Į>			
第2世期 照合相	: 出順の言語	1		
この国際出願の川紙の枚数は次の	のとおりである。 この国	際出願には、以下にチェックした	野類が添付されている。	
ぬ曹 ・・・・・・	· · 3 枚 1. 「	V 手数料計算用紙	5. 優先権書類(上記	BÍVI欄の()の番号を記載する
明細鸖(配列扱を除く)・・	16 枚 「	── ▼ 納付する手数料に相当する特計	; }	
韻水の範囲 ・・・・・・	2 枚 「			: (翻訳に使用した言語名を記載
要約費 ・・・・・・・・・		―― 証明する背面		
k1.111	10	-	=	は他の生物材料に関する書面
図道 ・・・・・・・・	・・ 19 枚 3. [1	Ⅴ 包括委任状の写し	8. ヌクレオチド又は (フレキシブルデ	:アミノ酸配列表 ィスク)
明細書の配列表・・・・・・		記名押印(署名)の説明書	9 その他 <i>(書類名を</i> :	・詳細に配載する)
合計 要約割とともに提示する図面:	21 本 本 1	国際出願の使用言語名: 日	本語	
彩IX 欄 提出者(の記名押印			
各人の氏名(名称)を記載し、			<u></u>	
ナスルスカ(おかりを記載し、で	COUNTIFIED O			
	服部	毅 巖		
1. 国際出願として提出されたと	類の実際の要別の見	- 受理官庁配入権	9	Lo service
- PENTARK COUNTROLING	1 ペンスがソス型の日			2. 図面
)、国際山騒として提出された自	類を補完する事類又は図面では	りって		受理された
その後期間内に提出されたも	のの実際の受理の日(訂正日)			
. 特許協力条約第11条(2)に	基づく必要な補完の期間内の登	足型の日		不足図面がある
- 出願人により特定された 国際調査機関	ISA/JP	16.	払いにつき、国際調査機関に 送付していない	-
		国際事務局記入		
AB (02 do - eq	•		•	
録原本の受理の日 式PCT/RO/101 (最	終用紙) (1998年7月)			

包 括 委 任 状

平成 8 年 7 月 19 日

私儀 弁理士 服部毅巖 氏 を代理人と定めて下記の権限を委任します。

- 1. 特許協力条約に基づくすべての国際出願に関する一切の件
- 2. 上記出願又は指定国の指定を取り下げる件
- 3. 上記出願に対する国際予備審査の請求に関する一切の件並びに 選択国の選択を取り下げる件

あて名 〒211 日本国神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号名 称 富 士 通 株 式 会 社 代表取締役社長 関澤 義 「張駿屬

1999年2月26日

私儀 弁理士服部毅巖氏を代理人と定めて下記の権限を委任します。

1. 特許協力条約に基づく国際出願「CADシステム及び 言z 金む サ某 イ本」

に関する一切の件

- 2. 上記出願又は指定国の指定を取下げる件
- 3. 上記出願に対する国際予備審査の請求に関する一切の件並びに選択国の選択を取下げる件

住所 静岡県静岡市南町18番1号 株式会社富士通静岡エンジニアリング内 氏名 山本 孝志

明 細 書

CADシステム及び記録媒体

5 技術分野

本発明はCAD(Computer Aided Design)システムに関し、特に二次元図面と三次元図面とを連携させたCADシステムに関する。

背景技術

15

20

25

10 機械部品の設計においては、三次元CADシステムが用いられることが多い。近年の三次元CADでは、フィーチャパラメトリックモデリングという手法が用いられている。

図18は、フィーチャパラメトリックモデリングを示す図である。この図に示すように、フィーチャパラメトリックモデリングは、目的の形状の特徴部分をフィーチャと呼ばれる単純な三次元形状101,102で定義し、それらを加減算(図の例では減算)することで複雑な三次元モデル103を求めるものである。この手法を用いれば、特徴部分の追加、除去、あるいは位置の移動などの操作が容易となる。例えば、フィーチャ102の寸法を変えることで、三次元モデル103の溝の幅を広げた新たな三次元モデル104を生成可能である。

このような三次元CADシステムは様々な面で優れているが、現実的には、設計開始時からフィーチャパラメトリックモデリングを利用して三次元モデルを設計する場合よりも、まず二次元図面を用いて設計し、そこから三次元的なモデルを生成する場合が多い。言い換えると、三次元CADシステムを利用した機械設計等において全ての設計を二次元図面の介在しない三次元モデリングだけで行うことは少ない。そこで、二

次元図面と三次元モデルを連携して設計するCADシステムにより、既成の二次元図面に描かれた断面形状を利用して三次元化を行う様々な手法が考えられている。例えば、特開平9-22421号公報に記載された発明では、要素の一部が省略された二次元図形からでも三次元モデルが生成できるようにしている。

ところで、様々な手法で生成された三次元モデルに対して何らかの変更を加える場合、三次元モデルを構成しているフィーチャの1つを選択する必要が生じる。通常、三次元設計CADシステムにおいて、三次元形状内のある要素を特定するには、三次元モデルを表示するウィンドウ上で、対象となる要素の面または稜線上にマウスポインタを移動し、マウスのボタンを押下することで選択する。

10

15

図19は、従来の三次元CADによるフィーチャの選択状況を示す図である。この例では、三次元モデル110が2つのフィーチャ111,112で構成されている。ここで、利用者がマウスを移動することで、マウスポインタ120をフィーチャ112の上に移動する。そして、マウスのボタンを押下すると、フィーチャ112が選択される。

このようにして、表示装置に映し出されている三次元形状を見ながら、 目的のフィーチャを選択することができる。

しかし、二次元図面設計者にとって、二次元図面を利用して設計した 20 三次元モデルの要素の位置・形状を特定する操作を三次元モデル上で行うことが困難な場合が多々ある。すなわち、二次元図面の設計者にとっては、加工指令等の入力に用いた二次元図面内の要素であれば、その属性等を正確に把握しているが、二次元図面から生成された三次元モデルでは、どれが目的の要素であるのかを認識しづらいことがある。二次元 図面から三次元モデルを自動生成する機能の高度化に伴って、その難易度はさらに高まると考えられる。

フィーチャパラメトリックを備えた三次元設計CADシステムにおいて、フィーチャを特定して操作することは避けられないものである。従って、フィーチャの選択の難易度が高いということは、三次元設計CADシステムとしての操作性が非常に悪いことを意味する。

5

20

発明の開示

本発明はこのような点に鑑みてなされたものであり、三次元形状を構成するフィーチャの指定を容易に行うことができるCADシステムを提供することを目的とする。

10 本発明では上記課題を解決するために、二次元図面と三次元図面との連携させて設計を行う三次元CADシステムにおいて、複数の三次元形状で定義された三次元モデルの二次元図を生成する二次元図生成手段と、前記二次元図生成手段により生成された二次元図を画面表示する二次元図表示手段と、画面表示された二次元図の中の図形を選択する図形選択 15 手段と、前記図形選択手段によって選択された図形の生成元である三次元形状を操作対象図形として選択する三次元形状選択手段と、を有することを特徴とするCADシステムが提供される。

このような三次元CADシステムによると、二次元図生成手段により、三次元モデルの二次元図が生成される。生成された二次元図は、二次元図表示手段によって画面表示される。ここで、図形選択手段により、画面表示された二次元図の中の図形が選択されると、三次元形状選択手段によって、選択された図形の生成元である三次元形状が操作対象図形として選択される。

本発明の上記および他の目的,特徴および利点は本発明の例として好 25 ましい実施の形態を表す添付の図面と関連した以下の説明により明らか になるであろう。

図面の簡単な説明

- 図1は、本発明の原理構成図である。
- 図2は、三次元CADシステムのハードウェア構成図である。
- 5 図3は、三次元CADシステムの機能ブロック図である。
 - 図4は、フィーチャ選択処理手順を示すフローチャートである。
 - 図5は、二次元図面から三次元モデルを生成する行程を示す図である。
 - 図6は、三次元モデルを構成するフィーチャと表示画面との対応関係を示す図である。
- 10 図7は、三次元モデルを構成するフィーチャの断面図のビューを示す 図である。
 - 図8は、投影図が重畳表示された二次元図面を示す図である。
 - 図9は、フィーチャ選択の様子を示す図である。
 - 図10は、CADシステムの画面構成例を示す図である。
- 15 図11は、二次元図面上での加工指示の例を示す図である。
 - 図12は、加工指示が反映された三次元モデルを示す図である。
 - 図13は、投影図が重畳表示された状態を示す図である。
 - 図14は、三次元モデルの例を示す図である。
- 図15は、稜線表示処理を施さない場合の三次元モデル表示画像を示 20 す図である。
 - 図16は、隠線表示処理を施した場合の三次元モデル表示画像を示す 図である。
 - 図17は、画面表示される二次元図面を示す図である。
 - 図18は、フィーチャパラメトリックモデリングを示す図である。
- 25 図 1 9 は、従来の三次元 C A D によるフィーチャの選択状況を示す図 である。

発明を実施するための最良の形態

10

15

20

以下、本発明の実施の形態を図面を参照して説明する。

図1は、本発明の原理構成図である。この三次元CADシステムは、三次元モデル1内の三次元形状を選択する操作を容易にするものである。そのために、二次元図生成手段2は、複数の三次元形状で定義された三次元モデル1を二次元的に描くことによって、二次元図4を生成する。二次元図表示手段3は、二次元図生成手段2により生成された二次元図4を画面表示する。図形選択手段5は、画面表示された二次元図4の中の図形を選択する。三次元形状選択手段6は、図形選択手段5によって選択された図形の生成元である三次元形状を操作対象図形として選択する。

このような三次元CADシステムによると、二次元図生成手段2により、三次元モデル1を二次元的に描いた二次元図4が生成される。生成された二次元図4は、二次元図表示手段3によって画面表示される。ここで、図形選択手段5により、画面表示された二次元図の中の図形が選択されると、三次元形状選択手段6によって、図形選択手段5で選択された図形の生成元である三次元形状が、三次元モデル1内の操作対象図形として選択される。選択された操作対象図形は、例えば表示画面内で強調表示される。

これにより、三次元モデルを構成する三次元図形、例えばフィーチャを二次元図面上で指定し、そのフィーチャを操作対象とすることができる。その結果、三次元モデル上で指定しづらい三次元図形を容易に指定することができるようになる。

25 次に、本発明を適用した三次元 CADシステムに関して具体的に説明 する。 図2は、三次元CADシステムのハードウェア構成図である。三次元CADシステムは、CPU(Central Processing Unit)11を中心に構成されている。CPU11は、バス17を介して他の機器を制御するとともに、様々なデータ処理を行う。バス17には、メモリ12、入力機器インタフェース13、表示制御回路14、HDD(Hard Disk Drive)インタフェース15、及びネットワークインタフェース16が接続されている。

メモリ12は、CPU11が実行すべきプログラムや、プログラムの 実行に必要な各種データを一時的に保持する。

10 入力機器インタフェース13は、入力機器としてキーボード21とマウス22が接続されており、これらの入力機器からの入力内容をCPU 11に伝える。

表示制御回路14は、表示装置23が接続されており、CPU11から送られてきた画像データを表示装置23で表示可能な画像情報に変換し、表示装置23の画面に表示させる。

15

20

25

HDDインタフェース15は、HDD24が接続されており、CPU 11から送られてきたデータをHDD24に格納するとともに、CPU 11からの要求に応じてHDD24内のデータを読み取り、CPU11 に転送する。HDD24には、三次元CADプログラムや三次元モデル 情報などが格納されている。

ネットワークインタフェース16は、LAN(Local Area Network)に接続されており、LANを介してデータ通信を行う。すなわち、CPU11から送られたデータをLANに接続された他のコンピュータに転送するとともに、他のコンピュータからLANを介して送られてきたデータをCPU11に転送する。

このようなハードウェア構成を有するCADシステムにおいて、本発

明に係る機能の処理内容が記述された三次元CADプログラムをCPU 11に実行させることにより、以下のような処理機能が構築される。

図3は、三次元CADシステムの機能ブロック図である。これは、三次元CADシステム内で本発明を実現するために必要となる機能のみを示している。本発明を実現するための機能は、大別して処理部30と記憶部40とに分かれる。

処理部30は、コマンド制御部31、三次元形状管理部32、投影処理部33、投影図管理部34、及び表示部35で構成される。

コマンド制御部31は、キーボード21などの入力装置からのキー入力を受け取り、入力されたコマンド認識する。そして、コマンドに対応する処理要求を三次元形状管理部32などに渡す。なお、三次元モデルのフィーチャの投影指令を三次元形状管理部32に出す際には、一度に全てのフィーチャを投影すると指示しづらくなるので、予め条件を与え、投影するフィーチャを絞り込むことも可能とする。また、投影された二次元図面上のある図形要素が選択された際には、指示された投影図の二次元図形要素に対応しているフィーチャの調査要求を、投影図管理部34に出力する。

三次元形状管理部32は、記憶部40内の三次元モデル情報記憶領域41に格納されている三次元モデル情報を管理しており、コマンド制御部31からの処理要求に応じて三次元モデル情報の入出力を行う。三次元モデルの定義には、フィーチャパラメトリックモデリングという手法が用いられている。フィーチャの形状は、そのフィーチャ単体の形状である陽特徴ボディとする。三次元モデル情報記憶領域41から取り出した三次元モデル情報に基づいて三次元形状を画面表示する場合には、取り出した三次元モデル情報を表示部35に渡す。また、三次元モデル情報から二次元図面を生成する場合には、取り出した三次元モデル情報を

20

25

投影処理部33に渡す。

10

15

投影処理部33は、三次元形状管理部32から渡された三次元モデル情報に基づいて、フィーチャ毎に、それぞれのクラス上に投影図を作成する。ここでクラスとは、三次元的視線方向を持ち、重畳表示可能に階層化された二次元図面である。この時、投影図を作成するクラスはシステムが用意したものとし、利用者のクラスへ直接書き込まないものとする。このクラスを検索クラスと呼ぶ。なお、利用者の図面が三次元的視線方向を持ったクラスで構成されている場合、機械製図における第三角法の投影図はクラス毎に描かれるものである。そこで、フィーチャの投影図を作成する際には、投影するフィーチャの作成時に定義した断面図の視線方向と一致するクラスに合わせてフィーチャの投影図を作成する。そして、投影したことによって生成される二次元図形を、投影図管理部34と表示部35とに渡す。

投影図管理部34は、投影処理部33から渡された二次元の図形を、 記憶部40内の投影図管理情報記憶領域42に格納する。また、コマン ド制御部31からの調査要求に応じて、記憶部40内の投影図管理情報 記憶領域42から、指示された投影図の二次元図形要素が属するグルー プを検出し、そのグループに対応しているフィーチャを調査する。調査 結果は、コマンド制御部31に返す。

20 表示部 3 5 は、三次元形状管理部 3 2 や投影処理部 3 3 から送られた情報に基づいて、三次元形状や二次元図形を表示装置 2 3 の画面に表示する。なお、フィーチャの投影図を表示する際には、検索クラス以外のクラスの二次元図形要素は全て低輝度で表示し、検索クラスの二次元図形要素が浮き立って見えるように工夫する。さらに、二次元図面上の要素を指示する際、検索クラスの図形要素だけが指示できるように検索対象となるクラスのマスクを設定する。

記憶部40には、三次元モデル情報記憶領域41と投影図管理情報記憶領域42とが設けられている。三次元モデル情報記憶領域41には、三次元モデルを構成するフィーチャの座標データなどが格納されている。この例では、各フィーチャは、ある1つの断面と、その断面面からの奥行きによって定義されているものとする。投影図管理情報記憶領域42には、投影された図形が、グループ毎に格納されている。図形は、基本的に直線などの線分であり、それらの線分が複数集まることで1つの二次元形状が形成される。例えば、4つの直線によって長方形が形成される。このように、ある二次元形状を構成する図形(線分等)の集まりがグループである。各グループは、その生成元となったフィーチャの識別子と対応づけて管理されている。

このような三次元CADシステムにおいて、三次元形状を構成するフィーチャを、二次元図形によって選択する場合の処理手順を以下に示す。 図4は、フィーチャ選択処理手順を示すフローチャートである。

[S1] コマンド制御部31が、利用者の指示に従って、候補となるフィーチャの陽特徴ボディ(フィーチャの形状を定義する情報)の獲得要求を三次元形状管理部32に出力する。すると、三次元形状管理部32が、三次元モデル情報記憶領域41内から該当するフィーチャの陽特徴ボディを獲得する。獲得した陽特徴ボディは、投影処理部33に渡される。とともに、コマンド制御部31が、投影図管理部34を通じて検索用投影図の準備を指示する。

15

20

25

[S2]投影処理部33が、二次元図面上に重ね合わせて表示可能なシステム定義の検索クラスを取得し、そのクラス上にフィーチャ毎の投影図を生成する。投影図の情報は、投影図管理部34と表示部35とに渡される。すると、投影図管理部34が、受け取った投影図の情報を投影図管理情報記憶領域42に設定する。また、表示部35は、受け取った

投影図を画面表示する。

20

[S3]上記準備後、コマンド制御部31は検索クラス上の図形要素の入力待ちとなる。この状態で、利用者が検索クラス上の図形要素指示・選択を行う。

5 [S4] コマンド制御部31が、入力された図形要素に対応するフィーチャの情報を投影図管理部34に問い合わせる。

[S5]投影図管理部34が、投影図管理情報を用いて指定された図形要素に対するフィーチャをコマンド制御部31に通知する。

[S6] コマンド制御部31が、通知されたフィーチャを選択状態にする。そして、選択されたフィーチャを強調表示するように、三次元形状管理部32は、処理対象となっている三次元モデルに関する情報を三次元モデル情報記憶領域41から取り出し、その中の選択されたフィーチャを強調表示するように表示部35へ指令する。具体的には、取得したフィーチャの情報を元に三次元表示上の該当するフィーチャを高輝度表示とするように表示部35へ指令を出す。その指令を受け取った表示部35は、選択されたフィーチャを表示装置23の画面上に高輝度表示する。

以後、選択したフィーチャに対する操作を実行する。なお、選択したフィーチャの操作方法等については従来の技術と変わりないため、説明を省略する。

以上のようにして、三次元モデルを構成するフィーチャを二次元図面 上で指定することが可能となる。

次に、二次元・三次元統合CADシステムによる三次元モデルの作成、 及びフィーチャの選択例を示す。

25 図 5 は、二次元図面から三次元モデルを生成する行程を示す図である。 二次元図面 5 0 上には、正面図 5 1 、上面図 5 2 、右側面図 5 3 が表示 されている。図の例では、1つのフィーチャ61が定義されている三次元モデル60へ、別のフィーチャ62を追加する場合を示している。この例では、右側面図53上で追加すべきフィーチャ62の断面図を描き、正面図51において、そのフィーチャ62の奥行きを指定している。これにより、新たなフィーチャ62が定義され、二次元図面50上に描かれる。この際、二次元・三次元統合CADシステムがフィーチャの三次元形状を計算し、三次元モデル60にフィーチャ62を追加する。

図6は、三次元モデルを構成するフィーチャと表示画面との対応関係を示す図である。この例では、図5に示した二次元図面とともに、アイソメトリック図(アイソメ図)54が表示されている。それぞれの図に対して、新たに追加されたフィーチャ62が追加されている。

10

20

25

三次元モデル60を構成するフィーチャ61, 62は、断面図と奥行きとによって定義されている。

図7は、三次元モデルを構成するフィーチャの断面図のビューを示す 5 図である。この図では、フィーチャ61,62の断面図をアルファベッ トの記号「A」、「B」で示している。

ここで、フィーチャ61,62の断面図のビューに対する投影図の生成指令を利用者が入力したものとする。すると、コマンド制御部31が三次元形状管理部32に対して、フィーチャ61,62の情報を抽出させる。そして、投影処理部33に対して、抽出したフィーチャ61,62の断面投影図の生成指令を出力する。すると、投影処理部33は、検索クラスとしてフィーチャ61,62の断面投影図を生成する。生成された投影図は、投影図管理部34は、記憶部40内の投影図管理情報記憶領域42内に、投影図管理情報を格納する。

また、投影図管理情報は、表示部35に送られ、三次元モデルの生成

もとであった二次元図面に重畳表示される。

10

15

20

25

図8は、投影図が重畳表示された二次元図面を示す図である。このように、三次元モデルを作成した際に生成された二次元図面50上に、フィーチャの断面の投影図が重畳表示されている。正面図51に重畳表示されているのが、フィーチャ61の断面投影図51aであり、右側面図53に重畳表示されているのが、フィーチャ62の断面投影図53aである。

利用者は、このような画面上でマウスを操作し、選択したいフィーチャの投影図上にマウスポインタを移動する。そして、マウスのボタンを押すことで、目的のフィーチャを選択する。

図9は、フィーチャ選択の様子を示す図である。この例では、マウスポインタ55をフィーチャ62の断面投影図53a上に移動し、マウスのボタンを押す。これによって、フィーチャ62の断面投影図53aが選択された旨の情報がコマンド制御部31に送られる。

選択された二次元図形の情報は、コマンド制御部31から投影図管理部34に送られる。投影図管理部34は、投影図管理情報記憶領域42内を検索し、選択された二次元図形の属するグループを検出し、そのグループに対応するフィーチャを特定する。そして、特定したフィーチャの識別子をコマンド制御部31に返す。これにより、二次元図面上で選択された断面投影図53aが、フィーチャ62に対応することをコマンド制御部31が認識し、フィーチャ62を以後の操作対象とする。また、コマンド制御部31は、選択されたフィーチャ62を強調表示すべき旨の指令を三次元形状管理部32に送る。三次元形状管理部32は、三次元モデル60を表示する画面上で、フィーチャ62が高輝度表示になるように、表示部35に表示指令を出す。表示部35は、指令に従って画面表示を行う。

次に、本発明の二次元・三次元統合型CADシステムの別の操作例について説明する。

図10は、CADシステムの画面構成例を示す図である。二次元・三次元統合型のCADシステムでは、まず利用者が二次元図面71を作成する。この例では、二次元図面71が形状とその位置を決定している。すなわち二次元図面71が「主」となる。この図面を元にCADシステムが三次元モデル72を生成する。三次元モデル72は、二次元図面71の変更に応じて変更される。すなわち、三次元モデル72は、二次元図面71の「従」である。表示画面内には、二次元図面71を表示するウィンドウ73と三次元モデル72を表示するウィンドウ74とが設けられている。

ここで、二次元図面71上で、三次元モデル72の加工指示を行う場合を考える。

10

図11は、二次元図面上での加工指示の例を示す図である。この例では、二次元図面のウィンドウ73上で、断面、奥行きなどを指定して切削指示を行っている。図中、太線で示した図形73aが、切削指示で指定された断面と奥行きを示している。この例では、切削すべき領域の断面を二次元図面上に配置しているため、切削すべき領域の位置も同時に決定していることになる。このような二次元図面上での加工指示は、三20 次元モデルに反映される。

図12は、加工指示が反映された三次元モデルを示す図である。ウィンドウ73内の二次元図面上で指定された切削指示によって、ウィンドウ74に表示されている三次元モデルの形状も更新され、新たなフィーチャ74aが追加されている。

25 二次元図面を表示するウィンドウ 7 3 上で形状と位置を指定することで作成したフィーチャ 7 4 a は、二次元図面上にそのフィーチャの加工

方法(形状と位置)が記されていることになる。そのため、加工方法を知っている利用者にとって加工結果であるフィーチャ74aを選択する際にも、加工方法(形状と位置)が記されている二次元図面上で指定した方が選択しやすい。

5 そこで、フィーチャ選択操作において候補となるフィーチャ74aの 投影図を二次元図面上に一時的に作成する。フィーチャの位置と形状が 図面通りのものであれば、その投影図は二次元図面に示された加工方法 (形状、位置)を示す図形73aと一致する。

図13は、投影図が重畳表示された状態を示す図である。この投影図 10 73bを二次元図面上から指示・選択することにより、三次元モデルの フィーチャを指示・選択することが可能となる。

このように、二次元図面から三次元モデルを作成した設計者にとっては、二次元図面内で目的のフィーチャを指定する方が容易である。

なお、三次元モデルの設計を二次元図面を介して行ったか、あるいは 15 二次元モデルを介さずに行ったかに関わらず、二次元図面を用いた方が 目的のフィーチャを指定しやすい場合がある。そのような例を以下に示 す。

図14は、三次元モデルの例を示す図である。この例では、三次元モデル80の内部にフィーチャ81が隠れて存在している。このような三次元モデル80を隠線表示処理を施さず(物体の陰に隠れている稜線を表示しない)に画面表示した場合、目的のフィーチャ81を画面上で確認することはできない。

20

図15は、稜線表示処理を施さない場合の三次元モデル表示画像を示す図である。このように、稜線表示処理を施さなければ三次元モデル8 0の外側のみが画面表示されるため、内部のフィーチャを指定することができない。そこで、隠線表示処理(物体の陰に隠れている稜線を表示 する)を行う必要がある。

10

15

図16は、隠線表示処理を施した場合の三次元モデル表示画像を示す 図である。図に示すように、隠線表示を行えば目的のフィーチャ81の 稜線を画面表示することは可能である。ところが、この例のように線が 複雑に入り組んでいる場合が多々ある。あまりに線が入り組んでいると、 どの稜線が目的のフィーチャ81を表しているのかが非常にわかりづら い。そのため、選択する際に細心の注意が必要となる。

ここで本発明を適用し、三次元モデルの設計に用いた二次元図面上に、 三次元モデルのフィーチャ単体の形状(陽特徴ボディ)を投影し、重ね 合わせて表示してみる。すると、次のような画面を得ることができる。

図17は、画面表示される二次元図面を示す図である。この例では、正面図91、上面図92、左側面図93、右側面図94、及びA-A′断面図95が表示されている。この二次元図面では、目的のフィーチャ81の断面図95aが、A-A′断面図95内に明確に表示されている。従って、断面図95aを選択することで、容易にフィーチャ81の選択を行うことができる。

このように、二次元図面上で三次元形状を選択することができれば、 二次元図面上で考えたことを直観的に操作に反映することができ、操作 効率が向上する。

20 なお、上記の処理機能は、コンピュータによって実現することができる。その場合、CADシステムが有すべき機能の処理内容は、コンピュータで読み取り可能な記録媒体に記録されたプログラムに記述されており、このプログラムをコンピュータで実行することにより、上記処理がコンピュータで実現される。コンピュータで読み取り可能な記録媒体としては、磁気記録装置や半導体メモリ等がある。市場へ流通させる場合には、CD-ROM(Compact Disk Read Only Memory)やフロッピー

ディスク等の可搬型記録媒体にプログラムを格納して流通させたり、ネットワークを介して接続されたコンピュータの記憶装置に格納しておき、ネットワークを通じて他のコンピュータに転送することもできる。コンピュータで実行する際には、コンピュータ内のハードディスク装置等にプログラムを格納しておき、メインメモリにロードして実行する。

以上説明したように本発明では、三次元モデルから二次元図を生成し、 二次元図上で目的の三次元形状を選択できるようにしたため、三次元モ デルの表示画面上では選択しづらいような三次元形状であっても容易に 選択できるようになる。

10 上記については単に本発明の原理を示すものである。さらに、多数の変形、変更が当業者にとって可能であり、本発明は上記に示し、説明した正確な構成および応用例に限定されるものではなく、対応するすべての変形例および均等物は、添付の請求項およびその均等物による本発明の範囲とみなされる。

請 求 の 範 囲

- 1. 二次元図面と三次元図面との連携させて設計を行う三次元CADシステムにおいて、
- 5 複数の三次元形状で定義された三次元モデルの二次元図を生成する二 次元図生成手段と、

前記二次元図生成手段により生成された二次元図を画面表示する二次元図表示手段と、

画面表示された二次元図の中の図形を選択する図形選択手段と、

10 前記図形選択手段によって選択された図形の生成元である三次元形状 を操作対象図形として選択する三次元形状選択手段と、

を有することを特徴とするCADシステム。

25

- 2. 前記二次元図生成手段は、前記二次元図として、三次元モデルの投 影図を生成することを特徴とする請求項1記載のCADシステム。
- 15 3. 前記二次元図表示手段は、三次元モデルの形状を定義するフィーチャの投影図を、二次元図面上に定義された視線方向に応じて画面表示し、前記図形選択手段は、前記投影図表示手段が表示したフィーチャの投影図を指定することで、図形を選択することを特徴とする請求項2記載のCADシステム。
- 20 4. 前記二次元図生成手段は、三次元モデルの形状を定義する三次元形 状毎に二次元図を生成するとともに、生成した二次元図を構成する図形 要素とフィーチャとの対応付けを管理しており、

前記三次元形状選択手段は、前記二次元図生成手段で管理されている情報により、前記図形選択手段で選択された図形に対応する三次元形状を認識することを特徴とする請求項1記載の三次元CADシステム。

5. 前記二次元図表示手段は、三次元モデルの設計図面上に、前記二次

元図生成手段によって生成された二次元図が強調されるように重畳表示することを特徴とする請求項1記載の三次元CADシステム。

- 6. 二次元図面と三次元図面とを連携させて設計を行うための三次元CADプログラムを記録した記録媒体において、
- 5 複数の三次元形状で定義された三次元モデルの二次元図を生成する二 次元図生成手段、

前記二次元図生成手段により生成された二次元図を画面表示する二次 元図表示手段、

画面表示された二次元図の中の図形を選択する図形選択手段、

10 前記図形選択手段によって選択された図形の生成元である三次元形状 を操作対象図形として選択する三次元形状選択手段、

としてコンピュータを機能させることを特徴とするCADプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

要約書

三次元形状を構成するフィーチャの指定を容易にする。二次元図生成手段(2)により、三次元モデル(1)を二次元的に描いた二次元図(4)が生成される。生成された二次元図(4)は、二次元図表示手段(3)によって画面表示される。ここで、図形選択手段(5)により、画面表示された二次元図の中の図形が選択されると、三次元形状選択手段(6)によって、図形選択手段(5)で選択された図形の生成元である三次元形状が、三次元モデル(1)内の操作対象図形として選択される。選択された操作対象図形は、例えば表示画面内で強調表示される。これにより、三次元モデルを構成する三次元図形を二次元図面上で選択することで、そのフィーチャを操作対象とすることができ、三次元モデル上で選択しづらい三次元図形を容易に指定することができるようになる。

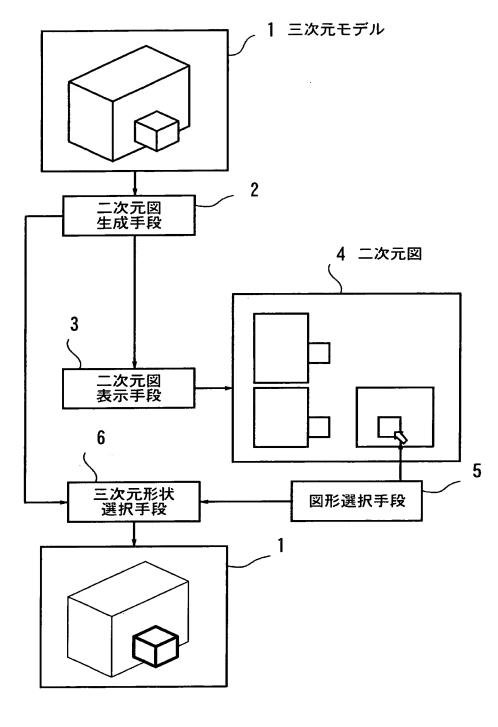
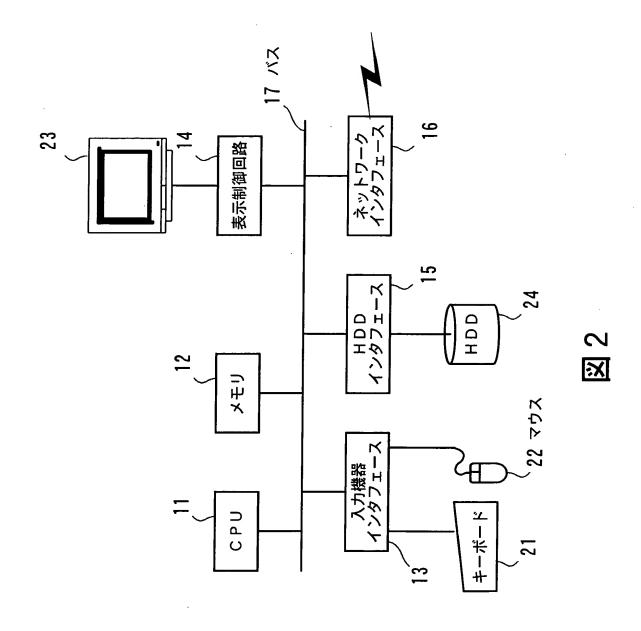
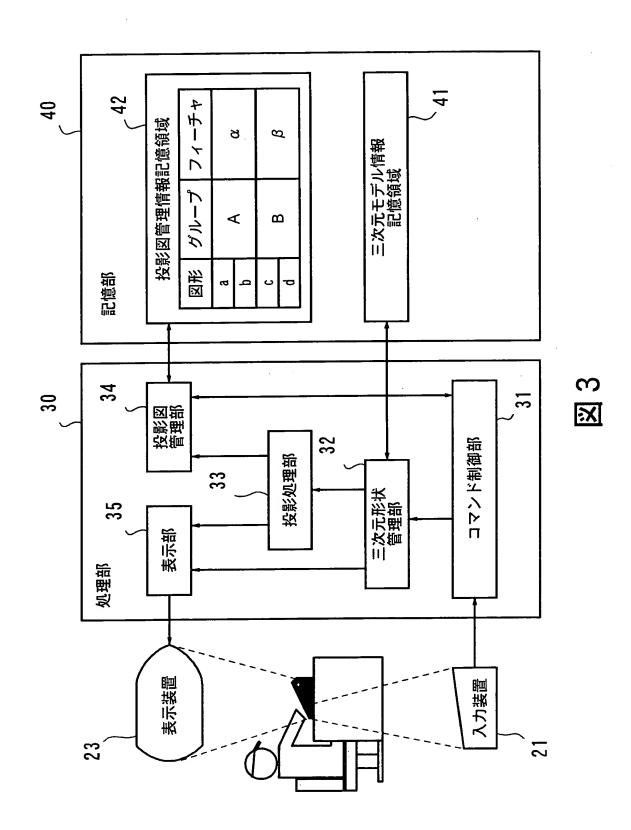


図 1

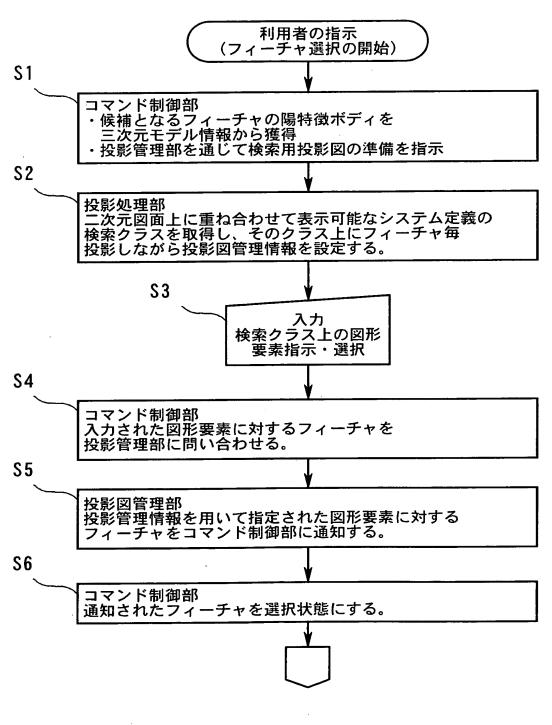
)



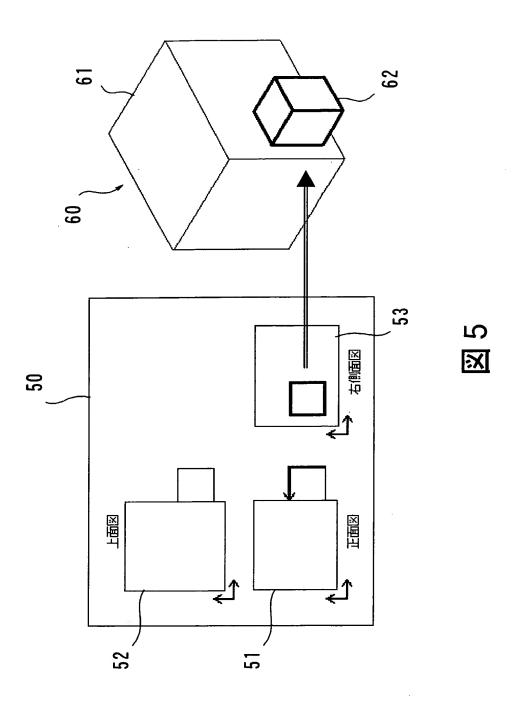


)

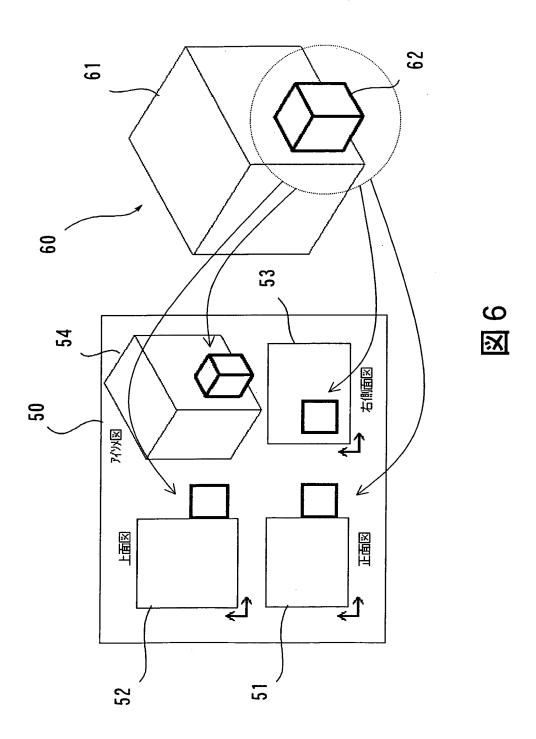
,



义 4



)



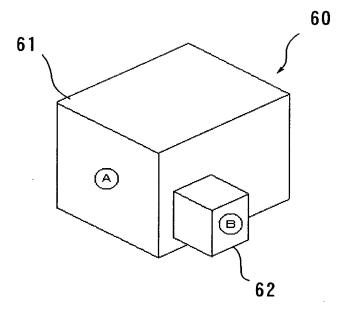
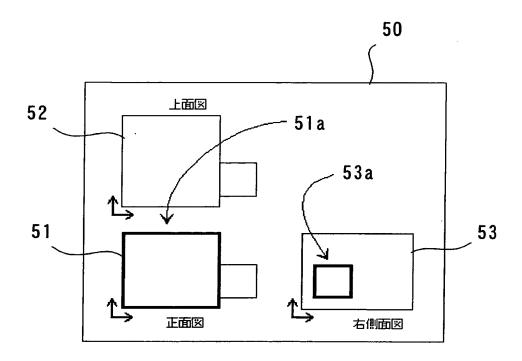
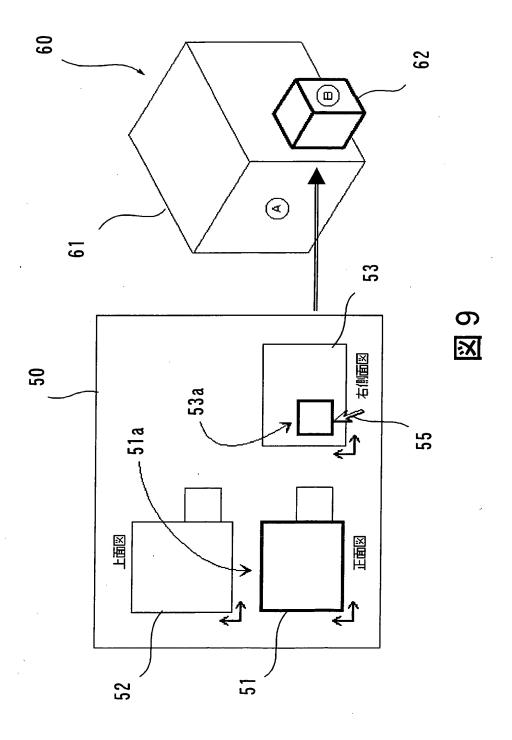


図 7





)

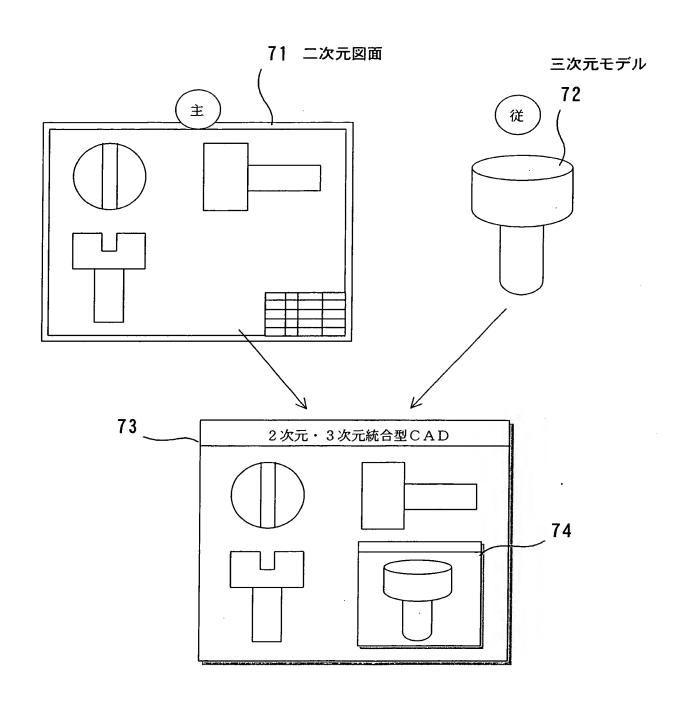
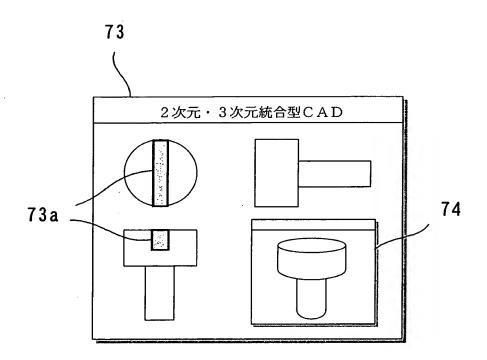


図 1 0



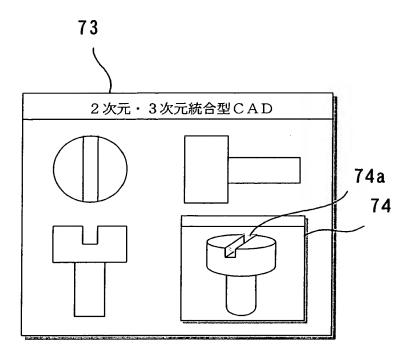
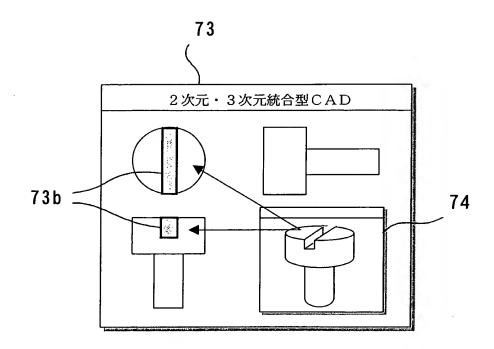
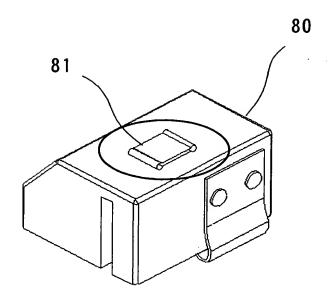
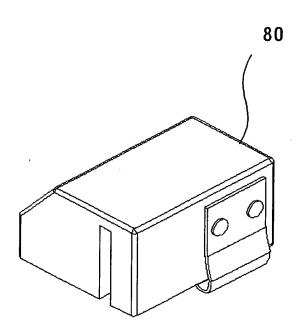


図12







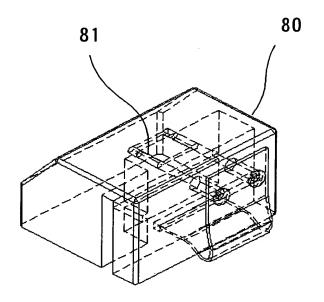
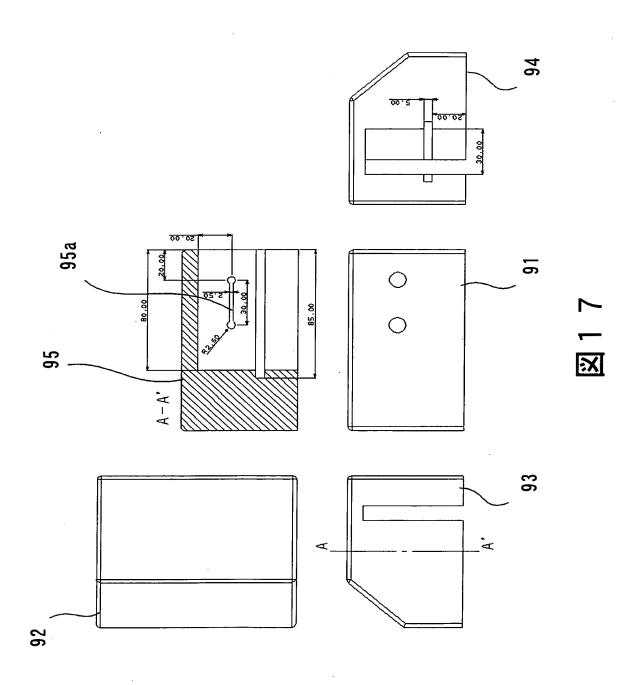
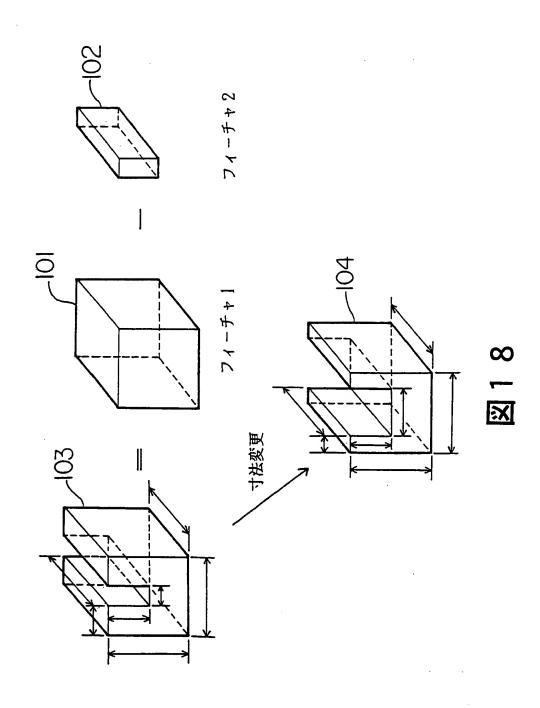


図16



)



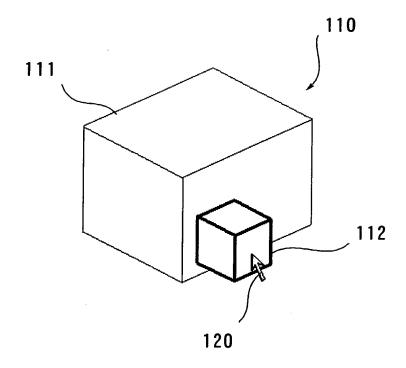


図19

あて名変更届

特許庁長官 殿

1. 国際出願の表示 PCT/JP99/01337

2. 出 願 人

名 称

富士通株式会社

FUJITSU LIMITED

あて名

〒211-8588 日本国神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目

1番1号

1-1, Kami kodanaka 4-chome, Nakahara-ku, Kawasaki-shi, Kanagawa 211-8588 JAPAN

国 籍

日本国

Japan

住 所

日本国

Japan

3. あて名を変更した者

事件との関係

出願人及び発明者

氏 名

山 本 孝 志

YAMAMOTO Takashi

旧あて名

〒422-8572 日本国静岡県静岡市南町18番1号 株式会社富士通静岡エンジニアリング内

c/o FUJITSU SHIZUOKA ENGINEERING LIMITED, 18-1, Minamicho, Shizuoka-shi, Shizuoka 422-8572 JAPAN

新あて名

〒422-8572 日本国静岡県静岡市南町18番1号 株式会社富士通インフォソフトテクノロジ内

c/o FUJITSU INFO SOFTWARE TECHNOLOGIES LIMITED, 18-1, Minamicho, Shizuoka-shi, Shizuoka 422-8572 JAPAN

国 籍

日本国 Japan

住 所

日本国 Japan

4. 代理人

氏 名

(9215) 弁理士 服 部 毅 巖



HATTORI Kiyoshi

あて名

〒192-0082 日本国東京都八王子市東町9番8号 八王子東邦生命ビル 服部特許事務所

Hattori Patent Office, Hachioji Tohoseimei Bldg., 9-8, Azuma-cho, Hachioji-shi, Tokyo 192-0082 JAPAN